

【企業】2023年度 大学「外部評価アンケート調査」回答

2023. 8. 4

回答者

本学の卒業生を多く採用していただいている企業12社に回答いただきました。

【質問回答】

1. 学生が身につけるべき資質・能力について

*是非身につけて欲しい資質・能力

*それほど重要視していないこと

①■共通する事項

- ・社会人として仕事に取り組む姿勢
- ・業務に関わる知識や技術を素直に習得する姿勢
- ・組織の一員として貢献する意識や責任感
- ・社会人になるための基礎的な教養
- ・時代の変化に対応できる柔軟性・チャレンジ精神
- ・コミュニケーション能力

■職種ごとに求められること

総合職・・・コミュニケーション能力（協働のための情報共有能力・プレゼンテーション能力・組織における振る舞い・対人会話力、交渉力・統率力などを中心にあらゆるコミュニケーション能力を注視）、ファッションを軸としたあらゆるビジネスに関心を持つための広い視野、経営的感覚、論理性、基礎学力などを中心に資質が求められます。また、学業に関わらないところで、行動力、積極性、挑戦心を持っていること、語学力や特殊なスキルを持っていることもプラスになると思います。

技術職・・・技術力・センス（デザイン画からソースを読み解く、もしくは企画意図を理解して消化し、自身の業務に落とし込む能力を含む）を第一に求めますが、加えてチームや関連部署と協働するためのコミュニケーション能力、ファッションや洋服にかける熱意が求められます。

販売職・・・コミュニケーション能力（特に対人会話力、表現力、対応力）とファッションに関わるセンスが強く求められます。加えて、自社のブランドとの親和性、また SNS や EC など新しい流通との連携が求められるため、柔軟性や適応能力も求められます。

*職種ごとにもとめられる資質が異なってきますので、基礎的な社会人スキルをきちんと身につけていただくと同時に、将来の目標を見据えること、若しくは明確でなくともこの業界で何かを為そうとする姿勢が重要になるかと思います。

②*是非身につけて欲しい資質・能力:対人能力(コミュニケーションにおける表現力、協調性、忍耐力)

*それほど重要視していないこと：・個人で完結する能力や実績、成果

③*是非身につけて欲しい資質・能力:1.基礎学力※昔の言葉にある「読み・書き・そろばん」という通り、読解力と計算力などの基礎知識。2.正しい言葉の使い方※ON と OFF での話し方に差

がなく、ビジネスの中でも友人との近い会話を見受ける。全て堅苦しい言い回しが良いわけではないが、状況に応じた言葉の使い分けが必要。語彙力の向上。3.考え抜く力、思考力など※感覚（センス）での判断も必要ですが、なぜその結論なのか、そうするのがいいのか等、問題・原因・対策などや仮説検証などを行い分析するなどの力が低いと感じます。4.体力、健康※1日8時間の勤務に耐えうる体力。休みがちになるなど、心身ともに体力が低いと感じます。体力がないから集中力も低下すると思えます。

*それほど重要視していないこと：・資格の有無（あるに越したことはないがそれが全てでは無い）

④*是非身につけて欲しい資質・能力：自主性・独自性・協調性・コミュニケーション能力・感性を磨く

*それほど重要視していないこと：専門知識や経験

⑤・コミュニケーション能力を身につけてほしいです。「話すことが好き＝コミュニケーション能力に長けている」と考えている学生が多い印象があります。もっと本質的なことを家庭・学校や社会で身につけてもらいたいと思います。

・知識についてはさほど重要視していませんが、重要視しない資質や能力は特にございません。それぞれがもつ能力・資質は、個性だと考えています。

⑥*是非身につけて欲しい資質・能力：時流を捉える力。そのためにはファッション以外の分野にも幅広く興味を持ち、知識に貪欲になっていただきたいと感じます。その上で専門知識の吸収にも力を入れていただきたいです。

*それほど重要視していないこと：業界専門知識や学生時代におけるアパレル業界でのアルバイト経験は重視していません。

⑦*是非身につけて欲しい資質・能力：コミュニケーション能力・判断力。人の意見に耳を傾けながら意見をまとめ、1人でも最後までやりきる力

*それほど重要視していないこと：資格などは目安にはなるが、あまり重視していないむしろ、仕事への姿勢や心持の方が重要

⑧*是非身につけて欲しい資質・能力：服に対する情熱、ロジカルシンキング

*それほど重要視していないこと：語学力

⑨*是非身につけて欲しい資質・能力：・ファッションに対する興味、好奇心・柔軟な思想、利己の思いだけでなく他己の思い・行動力、・消費者の不便を解消しようと思う気持ち・子供の成長やライフスタイルへの関心

*それほど重要視していないこと：縫製スキル、創造性、独創性、

⑩*是非身につけて欲しい資質・能力

デザイナーの場合：基本中の基本で、手で描ける、これが出来ていれば大方問題はないです。

パタンナーの場合：手で引ける、これが出来れば問題はないです。

*それほど重要視していないこと：Illustrator、Photoshop、3DCADなどこれらが扱えないのは、当社では特に重視はしていません。

⑪*基本的な事ではありますが、販売員としてお客様からの第一印象というのはとても大事だと

考える為、まずは自分から笑顔で挨拶ができる事です。

そして接客をする上で相手に寄り添うことが大切になってくるので、学生生活の中で人を思いやる気持ち・行動する姿勢を身につけていただきたいと思います。

*採用にあたってはアパレル経験の有無は重要視しておりません。

⑫*是非身につけて欲しい資質・能力：仕事で活用するイラレ、フォトショップ、エクセルなどのPCスキルは必ず使用する為、どの学生にも勉強をしてきて頂きたいと思います。また、現在のアパレルビジネスは中国とのやり取りがほとんどかと思えます。ODMやOEMを目指す方にとっては、中国語の知識や、専門商社を目指す方であれば英語など、語学力もあると強いと思えます。服の知識は、実際に働き関わる事で身につく部分も多いので、学生のうちはもっと広い視野を持たせる為、多くの事を学ぶ機会を作って欲しいと思います。

*それほど重要視していないこと：手書きでのデザイン画能力など。時代はデジタル化されてきています。手書きで書く事の体験は必要ですが、仕事ではほぼ活用していません。プロとして歴史や本質を知っている事は重要ですが、時代の流れにあった内容へとアップデートして頂きたいと思えます。過去の歴史を知る事も大切ですが、学生たちはこの先を作り上げていく世代なので、先を見据えた知識の習得が必要です。また、卒業制作に充てる時間も勿体なく感じます。その分、視野を広げる為の授業を行う事で、グローバルに働ける学生の育成が出来ると思えます。

2. 教育課程の編成と教育方法について

*教養科目の編成について

*専門科目の編成について

*改善に向けての提言（科目の過不足を含む）

*到達目標について

*評価方法について

*その他の指摘、改善点

①科目の編成については特に申し上げる点はございません。

様々取り組みをされていることが拝見でき、こちらに特に問題はないと思えます。

出来る限り、到達目標やカリキュラムごとの合格ボーダーラインを高く設定することが肝要と考えます。また、コロナ以降対面の減少によりチームワークや対人能力、技術力に不安があるケースが増えているため、今後対策が求められると感じています。

②*教養科目の編成について：・素材の知見は重要であると考えております。素材論等は継続的にご実施いただきたいと思います。

*専門科目の編成について：・興味深い科目も多く魅力的に感じます。

*改善に向けての提言（科目の過不足を含む）：・特にございません。

*到達目標について：・特にございません。

*評価方法について：・妥当であると考えます。

③・科目自体の構成や運用のそれぞれの事細かな点の指摘はございません。

全体的な所感で申し上げますと、最終的なゴールをアパレルの企業就職とするならば、どの学科であっても基礎的な『被服の基礎知識・製造のプロセス・流通・コスト』などの知識をひと通

り最低限の勉強はあるとよいかと感じます。あと補足ですが、貴校の事でなく全般的に就職選考時に感じますので記載しますが、商業デザインという考え方が薄いと感じます。特に、企画デザイン系の職種は、ブランドのコンセプトやテーマなどを踏まえコスト感なども考慮し販売できるかという観点が薄く、奇抜なデザイン発想をするのが優秀ととらえがちなのか、ポートフォリオを作った意図目的がうまく説明できない学生が多いと感じます。

④とくになし

⑤特段大きく変えた方がよいところはございませんが、今後の社会や企業において、デジタル領域（デジタルマーケティング、SNS活用、ITトレンド等）の知識はあるに越したことはないと思います。

⑥新たな学科が新設されるとのことで大変興味を持ちました。就職活動中の学生さんと面接などでお話をすると、入学時の学科選択時点では興味のある職種・学びたいことが曖昧である場合があることが伝わります。学科選択時や進級時に、アドバイスを受けることや自由に相談ができるなどのフォローが充実していることを願います。

⑦意見はございません

⑧とくになし

⑨意見はございません

⑩*教養科目の編成について：ファッションに関して基礎、基本をきちんと学べているので問題はないかと思います。

*専門科目の編成について：当社で求めている人物として、ニットデザイナーがあります。専門科目でニットの授業があると良いです。

*改善に向けての提言（科目の過不足を含む）：上記と同じくです。

*到達目標について：杉野学園の生徒様は他校様に比べ、レベルが高いと思いますので、引き続き現レベルでの教育をしていただくのが良いかと思われます。

*評価方法について：評価方法に関しては、こちらでは判断しづらいですが、当社に入社した学生を見る限りでは問題はないと思います。また選考時においても、しっかりとプレゼン出来る学生様が多いので、評価という部分では、きちんとなされている印象です。

*その他の指摘、改善点：杉野学園出身の新卒の方、また選考に来ていただいた学生様の面接時に話しを聞くと皆揃って、良い学校だと言われます。少人数で距離も近いので、先生にも質問し易いなど、ポジティブな言葉が多いので良い学校なのだなと、感じました。

⑪*資料のみではわかりかねますので未回答とさせていただきます。

追記：杉野服飾を卒業されている学生をお見受けする限り、非常に知識豊富な方が多く見受けられます。授業のカリキュラムは、問題ない印象です。

杉野さんだけではなく、課題と感じておりますが、得た知識を実際にどう企業に活かすかの社会性を学ぶカリキュラムがあってもよろしいかと思います。

⑫*教養科目の編成について：先ほど身につけて欲しい資質・能力にも記載しましたが、語学や商業知識など社会人として必要な知識は最低限必要かと思えます。一年次の必修科目を見ましたが、文化史や色彩演習は選択科目として、それよりも流通・商業入門(経営学や販売論)などの消費者として身近な川下の分野と造形基礎やファッション画(CG)など学生の興味のある川中の分野を必修とした方が、就職にも有利になると思えます。

*専門科目の編成について：特にありません。

*改善に向けての提言（科目の過不足を含む）：どんな学生を育てたいのかがパンフレットやホームページから伝わってきませんでした。服の知識を学んでどうなって欲しいのか？どんな活躍をして欲しいのか？御校がどういった大学を目指すのか？を明確にする事で、改善策が見えると思うので、そこがはっきりとすれば具体的な提言が出来ると思います。現時点では、必修科目の見直しが重要かと思います。

*到達目標について：特にありません。

*評価方法について：特にありません。

*その他の指摘、改善点；ブランドのリブランディングと同じかと思いますが、この先の御校が目指すべき姿を明確にする事が重要かと思います。教授たちが教えた事を教える学校ではなく、学生の将来の為に、何を教えるべきか進化を続ける学校であって欲しいと思います。

3. 入学者受け入れについて

***今後のアパレルの人材育成に向けてどのような人材を受け入れるべきか**

***そのための方策がありましたらお知らせください**

①ファッションに対する熱意や、この業界への希望、期待をしっかりと持っていてくれる人財、またそれを育てることのできるような人財を受け入れて頂きたいと思います。ファッション業界がもっと明るい話題や誇れるニュースをもっと発信していく必要があると思います。

②*今後のアパレル業界の人材育成に向けてどのような人材を受け入れるべきか：『明確な職種(デザイナー等)に限定しすぎず、ファッションを仕事にしたいと思える人材』アパレル業界全体として人材不足、特に現場寄りの職種(販売職等)の不足感が深刻です。従ってファッションが好きであることを糧に様々な働き方、活躍のフィールドがあることを理解し、能力や適性に合った職種を見つける考えをもった方が増えると、今後の業界の活性化を図ることができると考えます。

*そのための方策がありましたらお知らせください：・デザイナーやプレスだけでなく、ファッションアドバイザーやディストリビューターの職種についても周知に向け引き続き発信いただけますと幸いです。・企業としても努力してまいります。

③・ファッションが好きと言うのは全てにおいての大前提で、その上で「何がしたいか」、という明確な意思がある人物※ 話はそれますが、就職面接でも、ブランドが好きと言う熱意のみをアピールし、「御社しか受けていません」という学生がいますが、情熱以外に自分がその中でやりたいことや、将来像などの話が出来た学生が少ないです。(貴校の学生ではなく)

*そのための方策がありましたらお知らせください：・小論文などはいかがでしょうか。(すでにやられているかも知れませんが・・・)

④*今後のアパレル業界の人材育成に向けてどのような人材を受け入れるべきか：専門知識を身に着けることだけを考えている方も多いためお客様とのコミュニケーションで得られること、また接客・販売がいかに大事なかをしっかりと理解されている方

*そのための方策がありましたらお知らせください：接客・販売に通ずる科目の必修

⑤・時代や環境の変化を楽しめる方

・学校様の方でできそうな策としましては、実践している企業のヒトと触れる(講演会、勉強

会等)、レジリエンスの教育、キャリアのワークショップなど、さまざまなアプローチがあるかと思えます。

⑥*今後のアパレル業界の人材育成に向けてどのような人材を受け入れるべきか：この窮屈な時代の中でも、受け身にならず自由にファッションを楽しんでいる方をお迎えし、その方にビジネスマインドと専門性を身につけることが出来れば、業界にとって大変有意義なのではないかと思えます。

*そのための方策がありましたらお知らせください：(学校側が行って良いことかどうかわかり兼ねますが…) SNS 上で自分のコーディネートや世界観などを公開している方については、直接 DM を送るなどのアクションをしても良いのではないかと個人的には思えます。

⑦意見はございません

⑧*今後のアパレル業界の人材育成に向けてどのような人材を受け入れるべきか：人に興味が或る人材を受け入れるべきだと思えます。

*そのための方策がありましたらお知らせください：コミュニケーション能力を見極められるかがポイントだと思えます。

⑨ファッションの学校にはいろんな国籍の方がおられると思えますので積極的に交流して多様性を身に着けた方、海外の方

⑩*今後のアパレル業界の人材育成に向けてどのような人材を受け入れるべきか；最先端の知識がある人材が活躍する時代の風潮がありますが、基本を正しく受け入れる素直な人物が改めて活躍していく時代に戻る部分もあると感じますのでその様な人物、人材の受け入れも必要かと思えます。

⑪人と関わるのが好き、ファッション・オシャレが好きという気持ちなど原動力となる目標や思いを持った人材の受け入れが必要だと考えます。さらに対面コミュニケーションが制限されたコロナ禍で学生生活を過ごされた方が多いと思えますので、相手に興味を持ち自分からコミュニケーションを取る姿勢を持っていることも重要だと感じます。

またこれらに関しては受け入れ後の育成・フォローを強化していく必要があると考えます。

⑫*今後のアパレル業界の人材育成に向けてどのような人材を受け入れるべきか：これはどの業界でも同じですが、明るく元気で素直の方が一番です。しかし、業界への志望者が減少している現在では、様々な視点から新しいアイデアを生み出せる人材を育成していく必要がある為、少しでも服に興味のある方を受け入れて頂き、アパレル業界を活性化させて頂きたいと思えます。

*そのための方策がありましたらお知らせください：全国の専門大学や専門学校と協力し、合同学校説明会を開催するなど、アパレル業界の認知度を高校生や中学生へと高めていく必要があると思えます。その為にも、大学ごとの強みを明確にして頂き、どんな就職先があるのか？どんな知識が得られ、社会人として活用できるのか？好きな事を仕事にできるのがどれだけ幸せな事なのか？その魅力を学生と親御さんに伝えていく必要があると思えます。

4. コロナ禍を受けて今後の人材に必要なこと

* どのようなスキルが今後必要になるとお考えか

* どのような人材が今後必要になるとお考えか

① 今後は引き続きデジタルのスキル、オンラインのスキルが重要になっていくと考えております。そもそも今後の世代はデジタルネイティブですので、単純なオンラインスキルやSNSの活用スキルは標準的にお持ちだと思いますが、それらをファッションと、若しくはビジネスとどのように結びつけることができるか、ということが非常に大事だと思います。

また、その危険性（Eコマースは優良誤認など、SNSでは、その発言による社会的影響など）については教育課程の中で教えていく必要もあるかと思えます。

古い技術とデジタルの融合、メタバース、NFT、などとファッションを掛け合わせて新しい価値を創造できることなど、新たな世界を切り拓く人財が求められていくのだと思います。

② * どのような知識やスキルが今後必要になるとお考えですか：・ITリテラシー、ECスキルはますます必要になると考えます。

* どのような人材が今後必要になるとお考えですか：・変化の激しい時代の中、変化に応じて必要なスキル、知識を自ら学び発信できる人材。・SNS上でのコミュニケーションのみに頼らず、対面時において自身を表現できる人材。・チームで協働する意味を理解し、チームで成果を上げることができる人材。・主体性をもって行動ができる方。

③ ・コロナ禍を経て感じましたが、コロナだからといって特別なものはないと感じました。※「コロナ=DX」という短絡的なものではないと感じます。

* どのような人材が今後必要になるとお考えですか：・常に新しい技術やツールは時代とともに出てきますので、市場を分析し適切な費用対効果を考えていける柔軟な発想力と先見性、スピード感ある行動力が必要と感じます。

④ * どのような知識やスキルが今後必要になるとお考えですか：マスク生活も長かったので基本的ではありますが歯が見える笑顔の作り方、シーンに応じて表情の作り方に課題を感じています。

* どのような人材が今後必要になるとお考えですか：自ら考え自主性・独自性・協調性を意識し一人ではなく会社の仲間（チーム）として行動ができる方

⑤ ・人と直接接する機会が減ったこともあり、関係構築力などの対人スキルがこれまでよりも習得しづらくなったのではと思います。何の仕事をするにおいても重要なスキルになるので、最低限は身につけておいてほしいです。

・コロナにおいてもそうですが、将来予測が困難な状況が続きますので、(上述しましたが)変化対応力も必要になると考えています。

⑥ * どのような知識やスキルが今後必要になるとお考えですか:PCとSNSの最低限の知識は、どの職種においても求められると感じます。

* どのような人材が今後必要になるとお考えですか：どの業界・職種においても、時流を捉えて変化を恐れずに挑戦していくマインドが求められると思います。その上でせっかくファッション業界ですから、ご本人がファッションを楽しんでいるかどうかも大切です。

⑦ ECなどが進み、シーズンの上がり納期が早まっています。CADなどシステムを利用した社内の流れが一般化している為、システム操作はもちろん、スピード感を持った作業スキルがコロナ前より求められています

⑧ * どのような知識やスキルが今後必要になるとお考えですか：コミュニケーション能力

*どのような人材が今後必要になるとお考えですか；前出ですが、人に興味がある人

⑨ コロナを受けてのライフスタイル変更に柔軟に適応できる感性や感覚。

⑩ *どのような知識やスキルが今後必要になるとお考えですか：ネットやAIの台頭などで、情報過多になっていった際、その情報を正しく 取捨選択出来る知識やスキルが今後大切になっていくと考えています。

*どのような人材が今後必要になるとお考えですか：物事に対してコツコツと積み上げていくことが出来る人物が再度見直され、更に重視されていくと思われまますので、このような方が今後必要とされるのではないかと考えております。

⑪ 弊社は他者を思いやる事ができる人・協調性を持って働いていける人を求めています。

ネットではなくわざわざ店舗まで足を運んでくださるお客様に「また来たい」・「また会いたい」と思っただけのような、お客様一人一人としっかり向き合う誠実さとコミュニケーションスキルを持ち合わせた人材、そしてお客様だけでなくスタッフ間でも相手を思いやり、協力していくことができる人材が今後さらに必要となってくると考えております。

⑫ *どのような知識やスキルが今後必要になるとお考えですか：コロナ禍でデジタル化が進みましたが、まだまだ人との繋がりや対面での商談が必要な業界です。オンラインではやり取りが上手な学生が増えてきましたが、実際に対面での会話が苦手な人が増えています。とにかく人とのコミュニケーションが上手にできるかどうかは引き続き必要となると思います。

*どのような人材が今後必要になるとお考えですか：今回のアンケートもそうですが、どれだけ自分事として捉えて真剣に取り組めるのかが重要かと思ひます。受け身な人が増え、自発的に取り組み、行動できる人が減っていると思うので、しっかりと考え、行動できる人材が今後必要になると思ひます。

5. その他

① とくになし

② とくになし

③*どのような知識やスキルが今後必要になるとお考えですか：個人的な考えですが最近話題の生成AIにおいて、利用することはすべて否定いたしません、適切な利用がなされると学生の思考力や発想力の低下（考える力がつかない）につながるかと危惧してあります。

*どのような人材が今後必要になるとお考えですか：大手アパレルなど基礎研修がしっかりしている会社に勤めている経験がある人などは、若くとも即戦力になりやすい事例もあり、卒業時点でどれだけ基礎がしっかりでき、実践に近い状態化ではないかと思ひます。会社に入って1から学ぶではなく、学んできたものを会社でどう生かせるかと言った発想の人材を希望したい。

④ とくになし

⑤ とくになし

⑥ とくになし

⑦ とくになし

⑧ とくになし

⑨若い世代の個性を更に活かす為に、お客様の声を聞けるような環境を持つことも必要かと思えます。その為、販売の場面をアルバイトでも、授業でも、そのような時間が持てれば更にデザインの幅が広がるのではないかと思います。

⑩今後も杉野学園様とは、懇意していただければと心より思っております。アパレルの未来を切り拓いていく学生様が多々いらっしゃると思いますので、これからも素晴らしい生徒様をご紹介しますと幸いです。今後とも、何卒よろしくお願い申し上げます。

⑪特にございませぬ。

⑫アパレル業界からどんどんと人材が流出しております。それでも、コロナが終息し少しずつ業界も活気が戻ってきました。各企業、人材を確保するのに苦戦しておりますが、大学、専門学校と企業の連携が今後の業界にとってとても重要になると思いますので、しっかりと御取組みをさせて頂きたいと思えます。アンケート内容についても、文章だけでは伝わらない部分もあると思えますので、電話や ZOOM でもお問合せ頂ければお答え致します。